

# 給食だより

1月

令和8年1月7日  
練馬区立北町小学校

『早ね 早起き  
あさごはん』  
シンボルマーク



あけましておめでとうございます

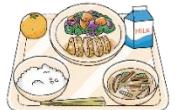
冬休みが終わり、いよいよ3学期が始まります。昔から「一月往ぬる二月逃げる三月去る」といわれてきたように、年度末に向けて月日が流れるのを早く感じる時期です。風邪やインフルエンザも流行していますので、体調管理にはより一層気をつけて、1月1日を大切に過ごしてほしいと思います。  
給食は1月9日(金)からです。本年も引き続き、衛生面に細心の注意をはらい、安全でおいしい給食を提供できるよう取り組んでまいります。学校給食運営へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



## 1月の給食目標

## 給食について知ろう！

給食の時間では、準備から片づけの実際の活動をくりかえし行うことで、望ましい食習慣と食に関する実践力を身につけることができます。1/24～30の全国学校給食週間を通して、学校給食の意義や役割などをみなさん知ってもらい、給食についてあらためて考える機会にしてほしいと思います。この機会に、好きな献立や給食時間の印象深い出来事など、給食の思い出をご家庭で話してみてはいかがですか？



## 1月の献立紹介

献立および食材の産地は学校HPにて公開しています。ぜひご覧ください。



- 1/14 (水) : 練馬区一斉給食～長ねぎ～

今年度7回目の一斉給食です。今回は、練馬区産の「長ねぎ」を15kg使って『ねぎ塩豚丼』を作ります。とれたて新鮮な練馬区の長ねぎを味わいましょう。

- 1/24 (土) ~30 (金) : 全国学校給食週間

給食の歴史にちなんだ献立や絵本の献立、郷土料理などを提供します。お楽しみに★





日本の学校給食は、明治22年、山形県鶴岡町（現：鶴岡市）の私立忠愛小学校で提供されたのが始まりとされています。その後、各地に広まつたものの、戦争による食料不足で中断されてしまいました。戦後、子どもたちの栄養不足を改善するため、昭和21年にアメリカの支援団体「LARA（アジア救済公認団体）」から、給食用物資の寄贈を受けて、翌年1月から学校給食が再開されることになりました。昭和21年12月24日に、東京都内の小学校で給食用物資の贈呈式が行われたことから、この日を「学校給食感謝の日」としましたが、昭和25年度からは、冬季休業と重ならない1月24日～30日までの1週間を「全国学校給食週間」とすることが定めされました。



### 学校給食

## の移り変わりを見てみよう！

明治22年	戦後(昭和20～30年代)	現在
私立忠愛小学校で提供されたとされる給食。	支援物資の脱脂粉乳や缶詰、小麦粉などを使った給食。	地域でとれる旬の食材を取り入れ、郷土料理や行事食、世界の料理など、食育の教材となる給食。

学校給食の内容は時代とともに変化していますが、いつの時代も変わらずに、「子どもたちが食べることなく、おいしく食べて、健やかに成長できるように」といった願いが込められています。

### 北町小学校の給食を一部紹介します～食べて学ぶ～

たなばた



地場産物

世界の料理～ブラジル～



## 3学期も学校給食へのご協力をよろしくお願ひいたします

### ★給食で必要なもの

- ランチョンマット
- くちふき用タオル
- マスク（配膳時に着用）

### ★洗濯のお願い

給食当番は白衣・帽子を週末に持ち帰ります。また、ワゴンカバーはクラス毎で順番に持ち帰ります。洗濯をして、週明けに持たせてくださいますようお願いします。

